

**「平成23年度の我が国における地球観測実施計画」
のフォローアップ【概要版】（案）**

平成24年7月

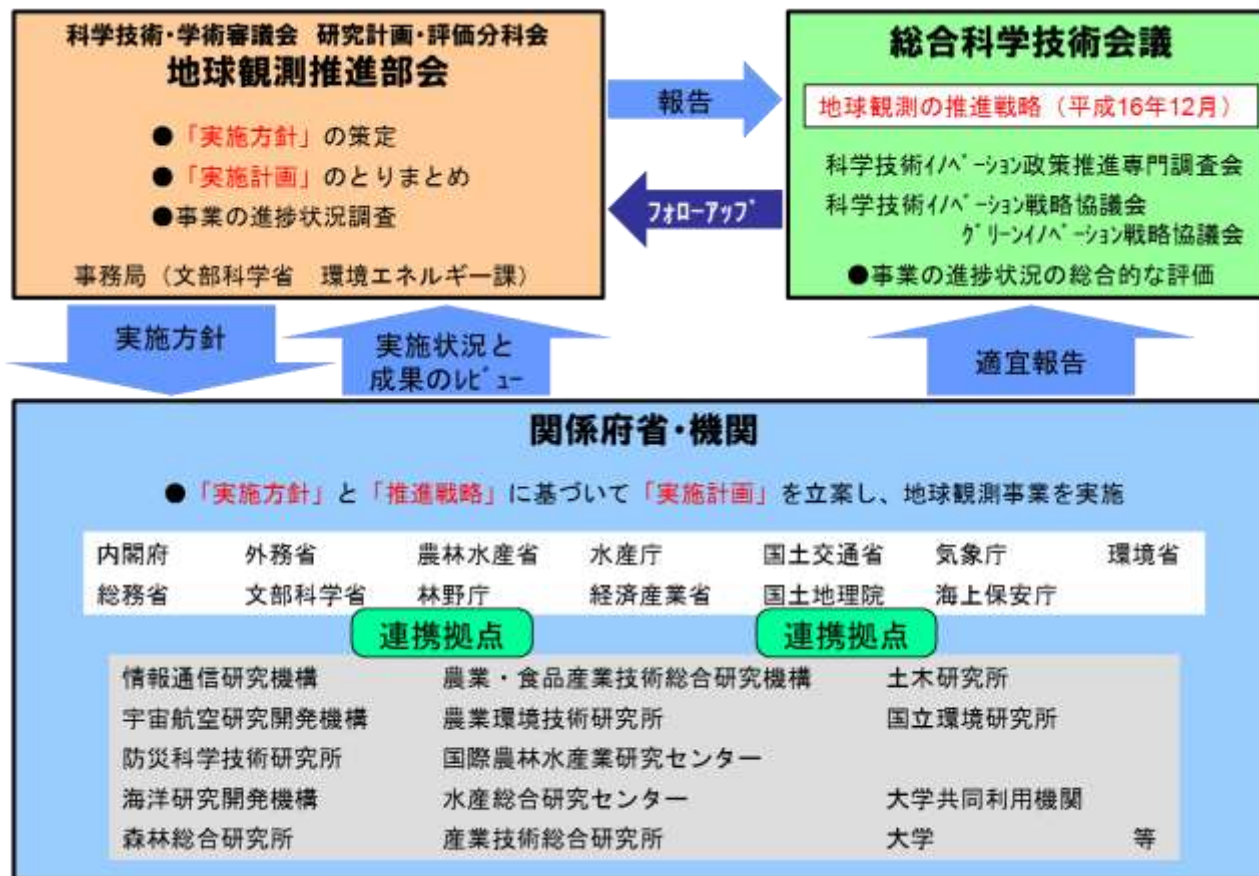
**総合科学技術会議
グリーンイノベーション戦略協議会**

「平成23年度の我が国における地球観測実施計画」のフォローアップについて

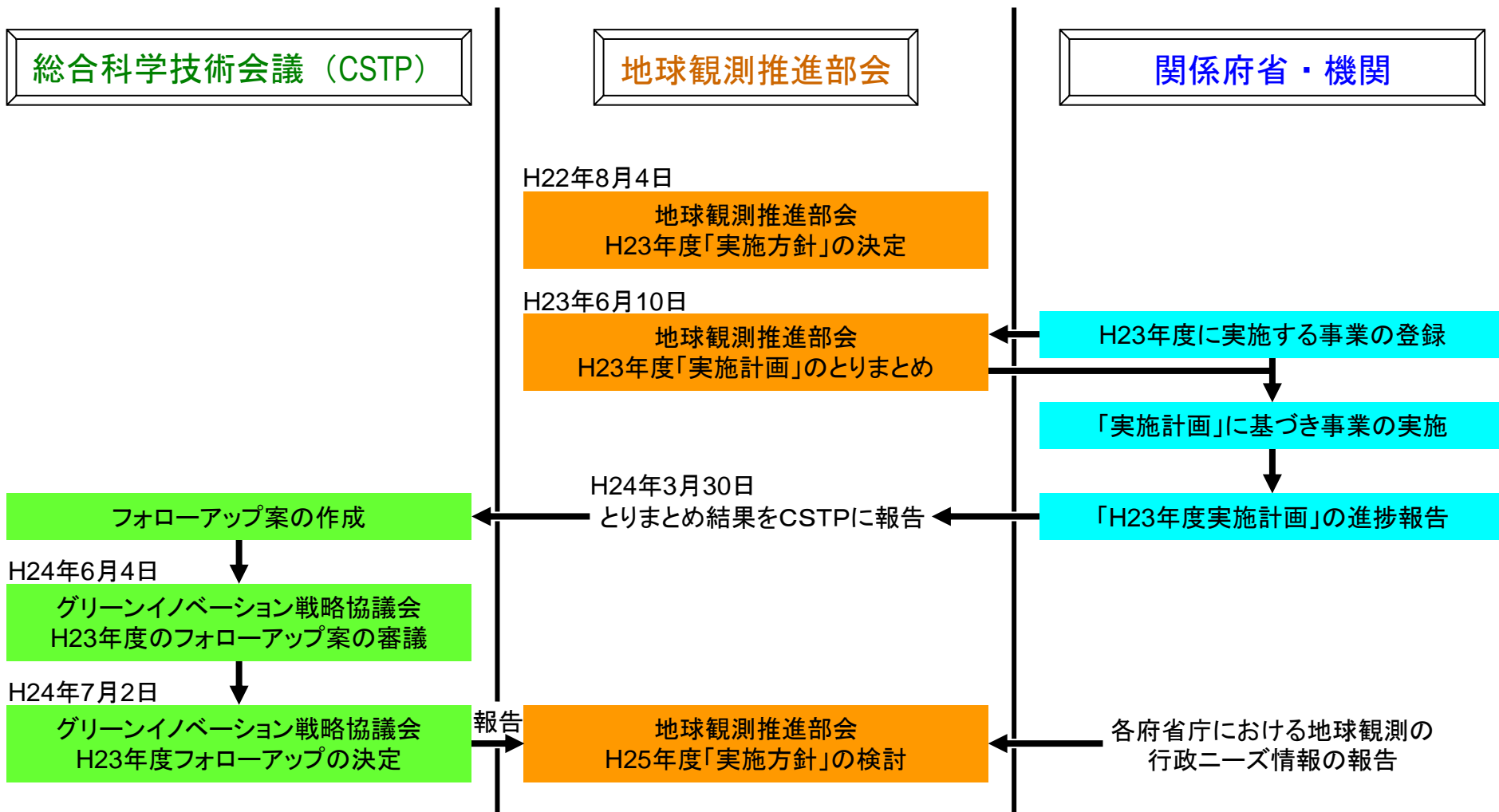
地球観測のフォローアップと役割分担(総合科学技術会議「地球観測の推進戦略」(平成16年12月27日)より)

- ①文部科学省 科学技術・学術審議会(地球観測推進部会)は、「地球観測の推進戦略」に沿って、関係府省・機関の緊密な連携・調整の下、地球観測の推進、地球観測体制の整備、国際的な貢献策等を内容とする具体的な実施方針を毎年策定する。
- ②総合科学技術会議は、実施方針とそれに基づく事業の進捗状況について科学技術・学術審議会からの報告を受けるとともに、必要に応じて関係府省・機関からも報告を受けて総合的な評価を行うこと等により、統合された地球観測システムの運用状況をフォローする。このような総合的な評価及び国内外の動向を踏まえて、「地球観測の推進戦略」の見直しを必要に応じて行う。

上記に基づき、総合科学技術会議(グリーンイノベーション戦略協議会)は、「平成23年度の我が国における地球観測実施計画」のフォローアップを行った。



平成23年度フォローアップの策定工程



平成23年度の我が国における地球観測の実施方針(概略)

平成23年度の実施方針のポイント

平成22年8月4日 科学技術・学術審議会 研究計画・評価分科会 地球観測推進部会

- 気候変動に関する政府間パネル(IPCC)の第4次評価報告書(2007年11月)による指摘や、G8ムスコカ・サミット(2010年6月)における合意等から明らかなように、地球温暖化をはじめとする気候変動への対応が世界的な政策課題として浮上。
- 温室効果ガスの排出抑制に代表される気候変動の緩和策に加え、適応策についても緊急な対応が必要。
- 気候変動への緩和と適応の両面にわたる適切な対応のためには、気候変動に伴う地球環境の変化を具体的かつ正確に把握・予測することが必要不可欠かつ社会からの要請の高い喫緊の課題であり、気候変動の監視・予測や対策の検証に寄与するための地球観測の役割はますます重要。
- 世界で顕在化している地球環境問題に関する重大な課題の解決に向けた実効性ある研究開発を実施し、その**成果を課題解決に活かす**と同時に、**地球観測の成果を広い分野で活用し、新たなイノベーションの創出**を目指す。
- 折り返し点を過ぎたGEOSS10年実施計画における取組のより一層加速、課題解決の枢要な方途としての利用ニーズ主導の統合された地球観測システム構築の重要性を併せて考慮し、**地球観測システムの統合による観測データの共有・統融合の推進**を重点事項として提示。

平成23年度の実施方針の概要

- ◆ **気候変動問題に対応するための課題解決型の地球観測の推進** → **第1章**
第1節 気候変動への適応のための地球観測
第2節 気候変動メカニズムの理解とより精度の高い予測のための地球観測
- ◆ **地球観測システムの統合による観測データの共有・統融合の推進** → **第2章**
- ◆ **国際的な地球観測システムの統合化に向けたリーダーシップの発揮と
アジア・オセアニア・アフリカ地域との連携の強化** → **第3章**
- ◆ **分野別の推進戦略に基づく地球観測の推進と基盤の構築** → **第4章**

第1節 地球温暖化、第2節 地球規模水循環、第3節 地球環境、第4節 生態系、第5節 風水害、第6節 大規模火災、第7節 地震・津波・火山、第8節 エネルギー・鉱物資源、第9節 森林資源、第10節 農業資源、第11節 海洋生物資源、第12節 空間情報基盤、第13節 土地利用及び人間活動に関する地理情報、第14節 気象・海象、第15節 地球科学